

町会だより

先は直ぐ海でした)には、海水浴や潮干狩り、すだて遊び等のお客様用に納涼台があり、中西石材店から海岸に続く当時の細い道路に、観光バスが十数台も連なっていました。(当時はヨーカドー脇の陸橋はなく踏切があった)



富士見町商店街

世帯からなる住宅地域へと変貌した。昭和40年代前半から現商店街が形成され、富士見町商店街と命名されたのが始まりである。現在、町会は富士見第1～第3までの3町会で構成されている。姉崎は、昔から半農半漁(農業一般と漁業及び海苔作り)であった。昭和30年代前後に「千葉県の産業振興計画」により「京葉臨海工業地帯」が40年代にかけて建設され、現在は日本有数の工業地帯に発展している。
*八反甫(はったんぷ、はったんぼの両説あり)

富士見町の成り立ち

富士見第1町会長 齊藤 義人

今回は、富士見町をご紹介します。地図上では富士見町という地名はありませんが、元来この地は、八反甫* (名勝八反甫の石碑があり、白砂青松の海岸が連なり、西は富士、東は遥かに姉崎神社の鬱蒼とした森が見える風光明媚な地)と呼ばれた田園地帯であった。海岸線(内房線から100m



「名勝 八反甫」の碑

子供の頃(昭和20年代後半～30年代)の思い出は、海と山の交換学習が、海の姉崎小学校と山の埼玉県越生小学校との間で、交流が長く続いたことでした。(二泊三日で教室に泊まった)昭和20年代後半当時、秋葉家(現精肉店)を含み、わずか3世帯が居住、回覧板は山新(現山新南町町会)より届いていた。昭和33年より区画整理が始まり、後に複数の地元有力者の方々のご尽力により「潮見通り」の開通となり、住宅・商店・飲食店が混在する2000

そよ風

発行

姉崎地区社会福祉協議会
発行責任者 会長 相川 敏子
編集者 広報部会
事務局 姉崎保健福祉センター内
TEL 0436(62)8601

姉崎地区(前年同期比)
世帯数 14,395 世帯(+128)
人口 28,881 人(-184)
男 15,046 人(-151)
女 13,835 人(-33)
令和2年10月1日現在

新しい生活習慣を目指して

姉崎地区社会福祉協議会 会長 相川 敏子



令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大で、大変な幕開けとなりました。皆様も感染拡大を防ぐために手洗い、うがい、検温、マスク着用と予防に努めていただいている事と存じます。更に、外出にあたっては、密閉・密集・密接の3密を避け、ソーシャルディスタンスを保つという新しい生活習慣を身に付けてこられたと思います。又、改めて健康の大切さ、有難みを感じ、平凡だった日常がどんなに有難かったかを知る機会となっております。こんな時だからこそ、自宅できる体力増進体操や読書、園芸等新しい趣味を見つけ、新しい生活

習慣を取り入れた新型コロナウイルスに負けない体力と免疫力をつけ、毎日笑顔で過ごしたいものです。社会福祉協議会の主な活動(福祉バザー、ふれあい会食会、茶話会、子育てサロン等)の開催は停止しておりますが、今後、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、徐々に再開してまいります。参加する皆様にもご協力をいただき「うつさない、うつらない」を基本に3密を回避し、マスク着用、手洗いの励行などしっかり感染対策をしながら楽しんでいただきたいと思ひます。災害が発生し避難所を開設する場合、避難所開設・運用マニュアル(新型コロナウイルス対策編：令和2年9月 危機管理課)に沿って対応

お詫び

7月号は新型コロナウイルス感染拡大により休刊となりました

してまいります。このような困難な時代にあっても、私たちが目指しているのは、地域のお年寄りや子供たちが安心して楽しく暮らしていくことができるまちです。皆様と支え合い、助け合うまちづくりを目指して頑張っていく所存でございます。これからも、皆様のご支えとご協力を賜り、活動に邁進してまいります。



「早くー!」 昨年の会食会

【ご寄付】 ありがとうございます

橘 無我(妙経寺住職)様 79,100円



上総吟游会様 5,000円

【令和2年度の姉崎地区町会長会の役員です】

今春、千種地区7町会が独立し、姉崎地区は32の町会となりました。各町会の活動が円滑になるよう役員一同、力を合わせて頑張っています。



今夏より 市原ナンバーが お目見えしました
ドヤ顔で ずらり並んだ 119

- 姉崎地区町会長会役員
- 会長 桃尾 英宣 (新宿)
 - 副会長 吉成 正司 (青葉台六丁目)
 - 副会長 窪園 正二 (富士見第二)
 - 会 計 寺田 喜昭 (下田)
 - 監 事 小泉 豊 (山新)
 - 監 事 渡辺 時雄 (青葉台五丁目)
 - 代表顧問 廣瀬 保夫 (姉崎仲町)

六月中旬の日曜日、和光苑で午後三時から今年度の予算等を決める運営委員会が開かれた。入館時、いつもと違っていた。のアルコール消毒は、どこでもやっ出てくることであるが、いつもと違って来る事!担当の方が、私に近づいて来て、私の額の三センチ辺りに手をかざし検温、異常がないことが分ると、次のステップに!うがいの容器が渡され、洗面所に案内される。会議の途中で、質問の時間が設けられる。手を挙げて早速質問する。このような一連の活動は、スタッフの方々の訪問される方々にもお願いしているのですか?と。いすると、その回答は、「もともとインフルエンザ対策でずっと続けてきたことなんです」と。和光苑から学ばることが多い。手洗いや体温測定だけではない。うがいも必要である。文責 小沼

【福祉バザー】
今年中止になりました。新たに歳末たすけあい募金活動を行っています。ご協力をお願いいたします。

【賛助金】
皆様からの賛助金が重要な活動資金になります。10月末現在 246,000円 引き続き「アネッサ」が賛助金の窓口になります。団体・個人を問わず皆様のご協力をお願いいたします。

編集後記

令和2年度の通いの場活動について 「チャレンジ通いの場」

平成30年度から月1回の「通いの場推進事業(令和2年3月終了)」は、2年を経て今年度は新たに週1回を目指して月1～3回の活動を行う「チャレンジ通いの場事業」が実施されています。

週一回開催にチャレンジ!

山新南町町会通いの場推進員 中戸 幹郎

昨年度は月1回の実施でしたが、今年度からは市の意向により、週1回以上を目標に実施することになりました。急激に進む高齢化に対応して、最近よく使われるフレイル(虚弱)に対し、通いの場は非常に効果のある取り組みであると考え、昨年度より実施してまいりましたが、今年



度はコロナウイルスの関係で、やむなく開催を見送ってきました。8月より《通いの場ふれあいサロン》を実施することとしました。コロナ禍が収束しない中であり、コロナ対策に対し万全を期する中で、2週連続実施しました。

しかし、東京都以外の地方にも感染が拡大する中で、室内換気が十分でない環境では、参加している人が全て高齢者であり、このまま続けることに対しリスクが高いこと、また、参加者から不安な声も聞かれました。このため計画した次週以降の実施を暫く中止することとしました。

再開については、コロナ禍が収束に向かう見通しとなったこと、及び、皆様の意向をお聞きする中で再開を検討してまいります。



健康体操 イッチ・ニー・サン

令和2年度 姉崎地区社会福祉協議会役員

Table with 3 columns: 役職名, 氏名, 所属団体等. Lists board members including 安藤久, 相川敏子, 川上孝江, etc.

新設一年半を振り返り 地域包括支援センター「しおみ」

センター長 猪股 理寛

当センターは昨年4月に発足し、約一年半が経ちました。

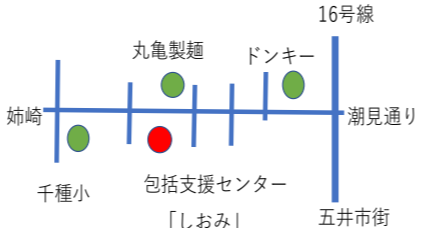
姉崎地区と五井西地区における「地域住民の総合相談窓口」として、日々多種多様な相談をお受けしています。

①介護保険サービスに関すること ②認知症に関すること ③生活困窮に関すること 昨今では災害や感染症に関する相談も増えています。

当センターに相談されることに対して、「敷居が高い」という認識を持たれている方は少なくありません。

- メンバー紹介 管理者: 猪股 理寛 主任介護支援専門員: 金児 千鶴 保健師: 池田 裕子...

今年4月より主任介護支援専門員・金児千鶴、7月より社会福祉士・吉村和人を加え、現8名体制で対応しています。



「しおみ」 ☎ 0436-26-5151



気軽に相談



民生委員の交代

山新町会地区 担当の民生委員・児童委員が 桐谷 徹 さんから 露崎 昭一 さんに交代になりました。

アネッサ人事異動

<転入> 島田 奈美さん 「前任の鈴木茜さんに代わって、アネッサ駐在の保健師として戻ってきました。

アネッサは地域の憩いの場

アネッサの詩吟教室に通いはじめて既に十年。

明日からアネッサが使用できるようになりました。よろしかったらどうぞ! (Mさんから)

早かったですね。 さっそくですが、5月30日(土)から借用お願いできますか?!

コロナ禍で自粛中の吟友もアネッサ再開の知らせを待ってるだろうな。たいへんありがたい一報でした。



検温計

さっそく、Lineでリモート練習していたグループにお知らせしました。

再開初日はちょっと緊張。検温、マスク着用、手指の消毒、団体の初回の同意書を提出し、さっそく自慢の「ファーミー ラシドミー」出る出る吟声、腹の声。

距離を保ち、窓を開けて、詩吟の大会や審査に向けて錬成が始まりました。まだまだ続くコロナのニュースや長梅雨にもめげずに、マスク越しでの和やかなおしゃべりも弾みます。

なんとしてもアネッサを コロナの発生源にしたくないんです。毎日の清掃や消毒で手荒れが酷くなりました。(Tさん)

スタッフの皆さんの一生懸命な姿に触れて、今でも会場の使用前後



には手分けして、机や椅子の消毒を行っています。

体育室やトレーニング室、入浴サービスも再開され、アネッサは正に私たちの大切な憩いの場であることを再認識させてくれました。

「マスクから 笑みがこぼれる テレパシー」 南房総誠吟会 椎津教場 田巻



横田先生を囲んで

青葉台から爽やかな歌声が

緑会コーラス部長 渡邊 妙子

青葉台みどりヶ丘の老人会「青葉台緑会」には8サークルありますが、その中で素晴らしい歌声を提供しているのが、私たちコーラス部です。

緑会コーラス部は現在、男性2名と女性24名のメンバーで、平均年齢はさほど高くありません。月2回みどりヶ丘集会所にて活動しています。

コロナ禍の影響でこの春から中断していましたが、6月から人との間隔をとり、検温、マスク着用、アルコール消毒、換気で、いわゆる3密を回避しながらの練習を再開



シールドやマスクをしての発表会



練習開始は発声練習ではなく、呼吸を整える準備体操で始まり、ギターとベースの伴奏で、ナツメロ、昭和の歌、懐かしき童謡を、若かりし頃を思い出しながら、ひた

距離をとっても歌声は相変わらず

すら歌います。 コーラスと言っても、高尚な二部や三部合唱ではなく斉唱です。ただみんなでお声をあわせ、心を一つに楽しんで歌います。

ギターの手原さんが歌をリードし、時には歌い方の指導とか、曲の解説やエピソード、高音は練習することによって出るようになるとか、発声は健康に資するとか、楽しい解説が聞けます。

緑会での発表の他、社協の会食会、市老連の芸能発表会、青葉台サロン等に参加することもあります。歌うことは、ストレス発散、気分爽快、精神的にも体力的にも効用あり、歌うって楽しいですね。

